



まえだ
前田 まどかさん(分水学校町)

●第78回分水おいらん道中 信濃太夫



◀おいらん道中当日の前田さん(写真左:信濃太夫)。おいらん特有の歩き方の「外八字」も見事に披露しました。

憧れのおいらん役で地元を笑顔に

4年ぶりに通常開催された第78回分水おいらん道中に信濃太夫役として参加した前田さんを紹介しします。今回おいらん役に応募したきっかけや当日の感想について伺いました。

「長い歴史と伝統を持つおいらん道中に参加が決まった時は、とてもうれしく思うと同時に、『しっかりと務めなければ』と身が引き締まる思いでした」

憧れのおいらん役に選ばれた時を振り返る前田さんは分水地区の出身。幼い頃からおいらん道中は最も身近なイベントだったと言います。

「小学生の頃、舞妓役として、おいらん道中に参加しました。その時から、華やかで上品なおいらん役になりたくて、いつか挑戦したいと思っていました」

晴れて信濃太夫役を務めることとなった前田さんですが、「筋縄ではいかなかったこともあったそう。

「肩を下げて、首を長く見せることや

視線は俯き加減にすることなど、おいらん役の特徴でもある独特の立ち姿や表情は慣れるまでもとても大変でした。ですが、注目される立場だからこそ、見に来てくれたみなさんを笑顔にできるよう練習に取り組みました」

おいらん道中当日は、あいにくの悪天候により屋内開催となったものの、会場に集まった大勢の観客を前に堂々と歩き切りました。

「伝統あるおいらん道中に参加させていただき本当に感謝の気持ちでいっぱいです。この先も燕市が誇る一大イベントとして末長く受け継がれていくように、たくさんの人たちに見に来てもらえたらと願っています」

紙上ブログ

燕市長 鈴木力



大河津分水建設には、私塾「長善館」の門下生たちが活躍しました。このたび通水百周年を記念して、千人を超える人材を育んだ長善館の初代館主鈴木文臺をモチーフにした漫画「鈴木文臺」が完成しました。

市内の全小中学校に配付するとともに、小学4年生の社会科や道徳の副教材として活用し、文臺の教育への情熱や長善館の教えなどを学ぶことで、郷土愛の醸成を図ります。

一般の方は、燕図書館、吉田図書館、分水図書館、つばめ電子図書館でご覧いただけます。

また、夏頃には一般販売も予定しています。お楽しみに。

◀こちらは有料広告です。

高速光インターネット

NCT 光

燕・分水・吉田 エリア

好評受付中!

インターネット
ケーブルテレビ
固定電話

はなさがじいさん

ぼち

インターネット・ケーブルテレビ・電話
エヌ・シー・ティ

0120-080-009

電話受付時間 9:30~17:30 (ドコモ光タイプに関しては10:00~19:00)
※上記時間以外・土日祝・お盆期間・年末年始は時間外受付に転送されます。

※この広報紙は、環境にやさしいペジタブル・オイル・インクを使用しています。